

# 富士見市価値共創プラットフォーム 『SDGsフジミテラス』 モデル事業検討会

令和8年6月18日（木）



# 本日の流れ

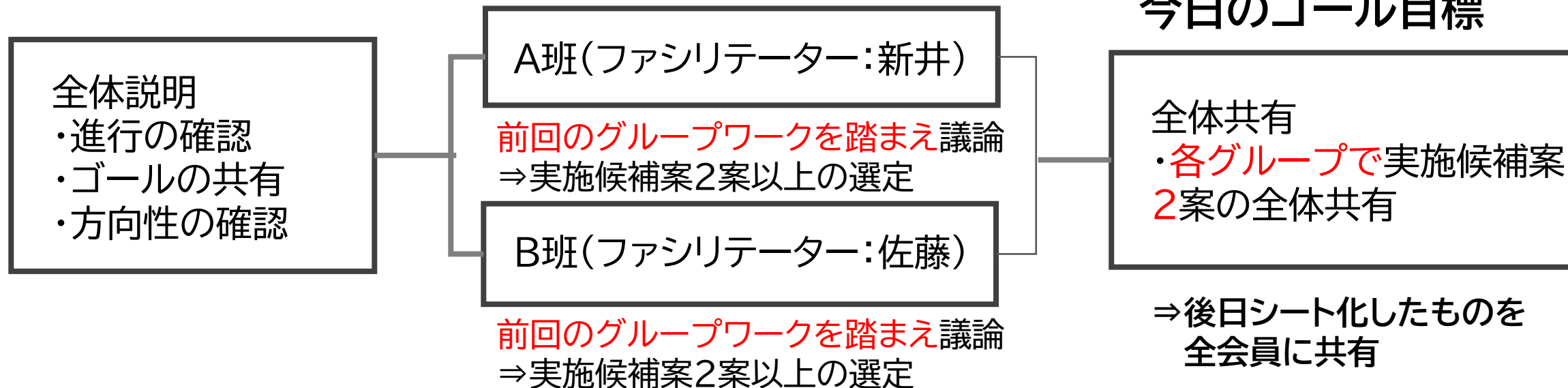


- 1.開会
- 2.本日の進行とゴールの共有
- 3.前回検討会の振り返りと次回の方向性
- 4.モデル事業の検討
- 5.閉会

# 本日の進行とゴールの共有



## ■全体の流れ



## ■タイムテーブル案

|       |        |         |         |         |       |
|-------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 18:30 | 18:40  | 18:45   | 19:25   | 19:45   | 19:50 |
| 10分間  | 5分間    | 40分間    | 20分間    | 5分間     |       |
| 全体説明  | グループ説明 | グループワーク | 発表・全体共有 | 閉会・連絡事項 |       |

# 前回検討会の振り返り（Aグループ）



## Aグループ意見・方向性まとめ（モデル事業案）

5月21日検討会の意見整理・方向性集約

### 意見の集約・方向性の整理

#### (1) 3つの方向性への分類

5月21日の検討会で出た意見について、大きく以下の3つの方向性に分類しました。

#### 方向性 A 商売（マーケット）体験（岡固/山口/中島）

「子ども商店街」「ふるさとコンテスト」などで、主に「自分でつくって売る」という一連の商売体験を通して、お金の管理や売り方の工夫など、学校では教えられない知識・体験を得る教育。GOOD SUNDAY STREET、MACHIfesなどのイベントへの展開を想定しています。

岡固さん、山口さんの意見は小学生低学年から参加できる内容で、中島さんの意見は中高生に絞り、通年サイクルで継続した定期的な開催につなげる設計になっており、同じ方向性の中でも対象年齢・開催スパンは異なっています。

#### 方向性 B 農業・食・ものづくりを通じた体験（加藤/島田）

「富士見マナーをテラス」「自然栽培米×農育プロジェクト」は、地域資源（びん沼自然公園・旧横田家・市内農地）の活用が中心で、一次産業（栽培）から加工・販売までを体験しながら富士見市の食文化を学ぶことや農業・食に関するバリューチェーン、イベント企画を通して実践的なキャリア教育を目指す内容です。

旧横田家やびん沼自然公園という市有財産の有効活用というメリットや、地域の大人なども巻き込んだ多世代参加型の取組という点も共通した提案になっています。

#### 方向性 C 金融教育・職業理解（佐藤/鳥海）

「それぞれのモデル事業に求められる金融知識」や「社会には色々な職業があるということ」を学べる職業図鑑的なキャリア教育」という内容です。

独立した事業案としてだけではなく、方向性Aや方向性Bといった事業を実効性あるものにするための「前提となる知識・教育」としても可能となる内容。商売体験をやっても原価計算の概念がなければ学びが浅くなる、という意見もあり、方向性A、方向性Bの課題ともつながる内容とも考えられます。

#### (2) 事業案の共通点

それぞれの提案や方向性の主な共通点として、次の3点をピックアップしました。

- ・マルシェとの連携：実際の販売・接客・失敗などの体験を経験する
- ・「地域の大人」との接点：市内事業者・金融機関・農業者との交流を含める事業内容
- ・「お金の流れを学ぶ」：全ての意見に何らかの形で原価・売上などの収支を学ぶことやマネタイズを目指すといった視点が含まれている

#### (3) 各意見の概要

|       |                                                                                                      |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 岡固/山口 | 子ども商店街 / ふじみの子ども商店街 手づくり品の販売・ワークショップ・ゲームを子どもが主体となって運営。GOOD SUNDAY STREETやMACHIfesと連動。対象：小学生～高校生。秋開催。 |
| 中島    | ふるさとコンテスト 地元特産物を活用した商品を開発しマルシェで販売。原価率・利益率も学ぶ。中高生対象・通年サイクル。学校との継続的連携を想定。                              |
| 加藤    | 富士見マナーをテラス（食・店・運動×マナー） 農業体験・小売体験・運動イベントの3本柱。各活動に金融機関が加わりお金の流れを学ぶ。びん沼公園ほか市内公園。小～高校生。                  |
| 島田    | 自然栽培米と農育のまちづくりプロジェクト 農薬・化学肥料不使用の米を栽培→加工→販売。旧横田家を活用。高校生が実践的キャリア教育の場として参加。10月収穫から試作へ。                  |
| 佐藤    | 金融教育の実施 仕入れ・原価計算・売上・人件費などを学ぶ場の提供。他事業の「土台」となる知識の教育のイメージ。モデル事業の金融教育部分として組み込む形での実施も考えられる。               |
| 鳥海    | 職業紹介・仕事図鑑 小中学生が社会にある多様な業種・職業を早い段階から知る機会の提供。社会的に目立つ職業だけではなく、様々な職業の仕事内容、意義（やりがい）の理解を含む。                |

# 前回検討会の振り返り（Bグループ）



## Bグループ意見・方向性まとめ（モデル事業案）

5月21日検討会の意見整理・方向性集約

### 意見の集約・方向性の整理

#### (1) 4つの方向性への分類

5月21日の検討会で出た意見について、大きく以下の4つの方向性に分類しました。

#### 方向性 A 商売（マーケット）体験（長嶋）

「子どもフェスティバルの模擬体験」などで、主に「物の対価（売る・買う）の体験」という一連の商売体験を通じて、販売の緊張感や商品が顧客に届く（販売する）流れを知ることによる達成感が得られることを目指す内容です。

#### 方向性 B 農業・食を通じた体験（向井/廣木）

「地元の野菜を活かした料理教室」「アニメに出てくるご飯を再現する」は、料理を通じて富士見市の食文化を学ぶことや農業・食に関するバリューチェーン、イベント企画を通じて実践的なキャリア教育を目指す内容です。

#### 方向性 C 金融教育・職業理解（向井/深瀬/廣木）

「産業、文化に触れる金融×ワークショップ」や「富士見市経済フィールドワーク」、「第2回富士見高校キャリア教育」という内容です。

向井さんの意見はワークショップ（疑似体験）を通じて、お金のやり取りを学ぶことが出来る内容です。深瀬さんの意見は対象者の自主性を育むことができる内容です。廣木さんの意見はお金の大切さ、どう稼げるかなど、事前にニーズ調査をしたうえで対話型の講座とすることで、理解が深まるとも考えられます。

#### 方向性 D ワーキング・ワークショップ（野田/深瀬/渡辺/堀内）

「もし学校で一匹動物を飼えるとしたら」や「こどもCEOタウン～地域まるごと経営資源～」、「学生によるSDGs普及啓発事業」という内容です。

ゲームやワークショップを通じて、人の意見を聞く・自分の意見を話す機会を作ることで、民主主義的な考えの醸成につながる事が出来る内容です。また、フジミライテラス検討会を一種のワークショップと捉え、若者主体の検討会の作成又は若者がフジミライテラス検討会に加わり、普及啓発活動する場を設けることで、若者のキャリア形成のサポートにつながるものとも考えられます。

#### (2) 事業案の共通点

それぞれの提案や方向性の主な共通点として、次の3点をピックアップしました。

- ・ゲームやワークショップなどを通じて、コミュニケーションの機会を設け、意見を言いやすい環境を作り、公共性を意識させる視点が含まれている
- ・実際の販売・接客などの体験を経験する
- ・「地域の大人」との接点：市内事業者・金融機関・農業者との交流を含める事業内容

#### (3) 各意見の概要

|    |                                                                                                                                                           |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長嶋 | 「子どもフェスティバルの模擬体験」などで、主に「物の対価（売る・買う）の体験」という一連の商売体験を通じて、販売の緊張感、商品が顧客に届く（販売する）流れを知ることにより達成感が得られる。対象：小学生～中学生。<br>対ひと（友達）とコミュニケーションとれるような参加型、ものを言っていんだという環境づくり |
| 廣木 | アニメに出てくるようなインパクトのあるご飯を作り、SNSで周知拡散することで話題性を集める。作品やキャラクター的なものなどのPRになるが、市のPRにもつながる。                                                                          |
| 向井 | 金融×ワークショップ（産業・文化に触れる、地元の野菜を活かした料理教室）ワークショップ（疑似体験）を通じて、お金のやり取りを学ぶことが出来る。対象：小学生～中学生。                                                                        |
| 深瀬 | 富士見市経済フィールドワーク グループワークで市内の気になるお店や会社を一人一人が語る。気になる対象にアプローチ。対象にお店や会社で働いている人と高校生たちが一緒に発表する内容を考え、最後に一緒に発表してもらう。対象：高校生。                                         |
| 廣木 | 第2回富士見高校でのキャリア教育 お金の大切さ、どう稼げるかなど、事前にニーズ調査をしたうえで、フジミライテラス会員と対話型の講座。対象：高校生。                                                                                 |
| 野田 | 「もし学校で一匹動物を飼えるとしたら」などの民主主義的な考え方が育つようなゲームやワークショップを通じて、人の意見を聞く・自分の意見を話す機会を作る。対象：小学生～高校生。                                                                    |
| 渡邊 | 「世のため人のため」という考え方の育成。個人主義が強い方が多くなっている。子どもの頃から世のため人のため（公共性）という考え方をチャンネルの一つとして持ってもらおう。                                                                       |

# 前回検討会の振り返り（Bグループ案①）



## モデル事業（キャリア教育）検討シート

### 事業名：第2回富士見高校キャリア教育

事業内容（実施時期、手法、会場など）

【実施時期】

学校と調整

【手法】

お金の大切さ、どう稼げるかなど、事前にニーズ調査をしたうえで、フジミライテラス会員と対話型の講座とする。

【会場】

富士見高校

事業の目的・ねらい

将来の自分について自分で考え、興味・関心の幅を広げるきっかけとなることで、社会を生き抜いていく力を備える。（第1回目的）

事業の対象者

高校生（継続できる対象として高校生を設定しているため、単発であれば大学生との対話型でもよいと考える。）

想定される課題・懸念点

高校の許可が下りるか

# 前回検討会の振り返り（Bグループ案②）



## モデル事業（キャリア教育）検討シート

事業名：学生によるSDG s 普及啓発事業（仮称）

事業内容（実施時期、手法、会場など）

手法

①高校生・大学生にフジミライテラス検討会のようなワークショップを開く場所を設け、検討した内容を小学校・中学校で披露する。フジミライテラス会員は、学生たちをサポートする。

②（参加人数が少ない場合）フジミライテラスに参画してもらう。

事業の目的・ねらい

ゲームやワークショップを通じて、人の意見を聞く・自分の意見を話す機会を作る。学生たちがSDGsを自分事としてとらえ、具体的なアクションへと繋げることで、SDGsの理解を深め、SDGsに取り組む意義や重要性を実感してもらう。

キャリア形成のサポートにつながる  
企業・団体と若者のつながりの創出

事業の対象者

高校生・大学生

想定される課題・懸念点

募集方法

募集人数が集まるか

# 前回検討会の振り返り（Bグループ案③）



## モデル事業（キャリア教育）検討シート

事業名：アニメに出てくるご飯を再現しよう（料理教室×PR）（仮称）

事業内容（実施時期、手法、会場など）

手法

①アニメに出てくるご飯の再現や、アニメに出てくるようなインパクトのあるご飯をつくり、SNSで周知拡散する。

事業の目的・ねらい

アニメに出てくるようなインパクトのあるご飯を作ることによって話題性を集める。

作品やキャラクター的なものなどのPRになるが、市のPRにもつながる。

事業の対象者

小学生・中学生・高校生・大学生

（市で包括連携協定を締結している大学の食環境科学部・学科の学生も巻き込めればよい）

想定される課題・懸念点

許可が必要かどうか

# 前回検討会の振り返りと次回の方向性



| 前回結果振り返り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 次回モデル事業の方向性                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 4/23検討会意見(一部抜粋)<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生の関心やニーズを調査した方がよい</li><li>・生徒が企画できるもので実施できるとよい</li><li>・モデル事業の間隔を1年半、2年など待たず毎年継続的に実施できるとよい</li><li>・キャリア教育後にビジネスアイデアコンテストを行い、グランプリは市で事業化できるとよい</li><li>・家庭科などの部活と連携して商品開発などの原価計算、利益などを教えてマルシェにつなげるのはどうか。</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 生徒側も受講するだけでなく、企画参加できる双方向型の事業</li><li>● 間隔を開けずに実施していきたい<br/>⇒遅くとも年度内の実施</li><li>● 中長期的にはキャリア教育後のマルシェに展開できる事業</li></ul> |

短期的な取組……キャリア教育の継続

中長期的な取組…キャリア教育後にマルシェに展開を目指す

# モデル事業の検討



## モデル事業（キャリア教育）検討シート

事業名：

事業内容（実施時期、手法、会場など）

事業の目的・ねらい

事業の対象者

想定される課題・懸念点

# モデル事業の検討

(参考：今後の実施事業について)

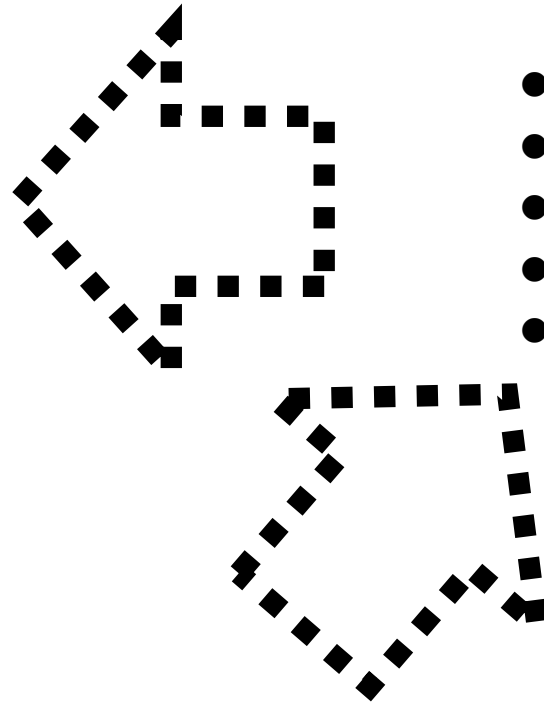


## あるべき姿につながる取組

- 高校生向けキャリア教育
  - 小学生・中学生向けの社会教育
  - パートナー企業への見学ツアー
  - 勝瀬原記念公園でのマルシェの継続
  - 他地域での公園マルシェの開催
  - ブルーベリー農園の整備
  - 月1回の100人会議
- etc

## 解決すべき課題

- 市民総活躍の推進
- 地域経済の活性化
- 自然環境の保全
- 住みたい・住み続けたいまちづくり
- 将来における活力の向上



## 2030年のあるべき姿

【社会面】  
市民総活躍  
(誰もが活躍できる  
まち)

【経済面】  
地域経済の活性化

【環境面】  
脱炭素社会の構築

# モデル事業の検討（参考：令和7年度モデル事業の振り返り）



| テーマA<br>高校生に向けたキャリア教育 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 効果                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・実施する「意義」や「目的」が明確になり共有できた。</li><li>・「目的実現」を可視化する形で施策内容を詰めることができた。</li><li>・就職のためではなく「社会で働く」をイメージしてもらえた。</li><li>・生徒が多様な職種に触れたことで、将来設計への意識向上が観られた。</li><li>・高校生が地域とつながったことで、地域に目を向けるきっかけとなった。</li><li>・高校生のアンケート結果からも、良い内容であったと判断できた。</li><li>・イメージ通りの反応（そこまで真剣ではなかった）であったと思う。</li><li>・社会の生の意見を共有し、将来を考えるきっかけとなった。</li><li>・それぞれが機動的に協力できたことで、成功できたと感じた。</li><li>・メンバーの結束管が生まれた。</li><li>・生徒との温度差を感じた。</li><li>・多くの職種が参加し、特徴のある事業となった。</li><li>・市職員の主体的な関与がないと成立しないと実感した。</li><li>・検討会の時間に対し、単発イベントであったことも含めて、十分な手ごたえがあったとはいえなかった。</li><li>・実施内容、時期ともに有意義なものとなった。</li></ul> |
| 課題                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・持続的に活性化していくために、定点的なデータ計測が必要。</li><li>・単年度で終わらせるのではなく、発展的な取組として考えていくべき。</li><li>・全生徒に十分に響いたものとは言えなかった。</li><li>・自己満足で終わらないように、どのようにつなげていくかのイメージが持てていなかった。</li><li>・高校生との意見交換にはもう少し時間があってもよいと感じた。</li><li>・参加したメンバーの力によるものが大きく、継続するためには属人的にならないようにする必要がある。</li><li>・もっと早い段階から実施した方が子供の裾野がさらに広がると思います。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                              |

| テーマB<br>自然公園を活用したふじみSDGsマルシェ |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 効果                           | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民の交流と地域経済の活性化に寄与した。</li><li>・多くのステークホルダーに参加企業やイベントを知ってもらうことができた。</li><li>・会場に多くの来場者があり、充実したイベントとなった。</li></ul>                                                                                                                                                                |
| 課題                           | <ul style="list-style-type: none"><li>・屋外実施の場合、天候に左右されやすいので、代替案の検討も必要。</li><li>・自己満足で終わらないように、どのようにつなげていくかのイメージが持てていなかった。</li><li>・事業実施後に全体での振り返り（評価）機会がなかった。</li><li>・事業実施後にメンバー間での意見交換を実施すべきであった。</li><li>・継続実施が判断できない中で、テント購入等の負担については疑問が生じた。</li><li>・既存団体のイベントに参加となったため、提案が通らず、結果として既存イベントの盛り上げとなってしまった。</li></ul> |